



## 茨城県取手市議会会派「無党派クラブ」行政視察研修行程表

○10月8日(火)

藤代駅 東京駅 のぞみ19 名古屋駅 名鉄名古屋駅 新可児駅 (昼食)  
7:28 発 8:20 8:40 10:19 10:30 10:41 11:40

可児市子育て健康プラザ mano 視察 (徒歩) ホテル  
13:30~16:00 16:30 着予定

### ・岐阜県可児市議会事務局

住所：岐阜県可児市下恵土5076 (〒509-0203)

電話：0574-62-1111 (代表)

### 【研修事項】

○可児駅東土地区画整理事業について

- ・事業概要、経費
- ・これまでの経過や今後の展開
- ・事業実施による効果と特色
- ・地域住民の声

○子育て健康プラザ mano について

- ・建設概要、経費
- ・特色 (ハード及びソフト) や利用者数
- ・利用者の声
- ・施設を利用した今後の事業計画

### 【宿泊先】

ルートイン可児

住所：可児市広見5-130-2

電話：0574-63-1323

〇10月9日(水)

ホテル(徒歩) 可児市視察 新可児駅 犬山駅 名鉄名古屋駅  
9:10 9:30~11:30 13:44 14:04 14:07 14:32

名古屋駅(のぞみ26) 東京駅 藤代駅  
14:57 16:33 17:04 17:56 着予定

・岐阜県可児市議会事務局

住所：岐阜県可児市広美1-1(〒509-0214)

電話：0574-62-1111(代表)

【研修事項】

○予算決算審査委員会について

- ・以前と現在の予算、決算審査の相違や現委員会の概要
- ・審査方法
- ・効果

○議会改革と議会基本条例について

- ・これまでの改革の概要
- ・特色
- ・市民の声
- ・今後の展開

**Subject:** 裁判日時

以下引用

件名 取手駅西口裁判の判決日時

皆様へ BCCでお送りします。

取手駅西口裁判の判決が近づいて来ました。この裁判は藤井市長が市有地(現在の医療ビル)を市内の眼科医に安く売却したということで、市民有志が提訴していたものです。2013年(平成25年)4月8日に提訴してから既に6年9ヶ月が経過しています。一審の判決が出るまでにこれほど時間がかかるのは珍しいそうです。関心をお持ちの方は当日傍聴にお越しください。

判決

日時:1月31日【金】 13時15分

場所:水戸地方裁判所

記者会見

日時:1月31日【金】 15時

場所:茨城県弁護士会館(本館)3階

# 「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

【日 時】 2019年8月1日（木）13：00～17：30  
2019年8月2日（金）09：30～16：00

【場 所】 東京ビッグサイト 7階国際会議場（東京都江東区有明三丁目11-1）

## ■ 1日目：8月1日（木）13:00-17:30

### 13：00～ 【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」

北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

### 13：20～ 【パネルディスカッション】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

江藤 俊昭 氏（山梨学院大学教授）

杉田 淳 氏（NHK報道局選挙プロジェクト副部長）

久保 隆 氏（NHK報道局選挙プロジェクト記者）

### 14：20～ 【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」

清水 克士 氏（滋賀県大津市議会局次長）

小原 昌江 氏（岩手県北上市議会事務局議事課長）

岩崎 弘宜 氏（茨城県取手市議会事務局次長）

小林 宏子 氏（東京都羽村市議会事務局長）

### 15：35～ 【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その1）」

松田 崇義 氏（株式会社メディアドゥ smart書記事業部長）

### 16：20～ 【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山 善博 氏（早稲田大学教授、元総務大臣）

### 17：20～ 【総括】

北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

#### < 周辺お食事処 >



#### 有明パークビル

レストラン 12店舗

デリーヤマザキ

#### TFTビル

レストラン 17店舗

セブンイレブン、ミニストップ

#### 東京ビッグサイト

レストラン 9店舗

ローソン、セブンイレブン

# 「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

■ 2日目：8月2日（金）9:30-16:00

## 9：30～【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」

千葉 茂明氏（月刊「ガバナンス」編集長）  
早苗 豊氏（北海道芽室町議会議長）  
諸岡 覚氏（三重県四日市市議会議長）  
梅村 均氏（愛知県岩倉市議会議長）

## 10：30～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）  
谷畑 英吾氏（滋賀県湖南市長）  
越田 謙治郎氏（兵庫県川西市市長）  
上村 崇氏（京都府京田辺市長）

## 12：20～【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方考える」

中村 健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）  
則武 宣弘氏（公明党岡山市議団）  
中原 淑子氏（公明党岡山市議団）  
林 敏宏氏（公明党岡山市議団）

## 13：00～【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」

米田 英輝氏（東京インタープレイ株式会社代表取締役）

## 13：40～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）  
瀧野 良枝氏（長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター）  
竹下 修平氏（愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議長）  
原口 佐知子氏（静岡県牧之原市 市民ファシリテーター）  
田口 裕斗氏（岐阜県可児市議会高校生議会、現立命館大学3年）

## 14：45～【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」

石破 茂氏（自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣）  
稲津 久氏（公明党衆議院議員、党地方議会局長）  
逢坂 誠二氏（立憲民主党衆議院議員、元ニセコ町長）  
廣瀬 克哉氏（法政大学教授）

## 15:45～【総括】

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）



資料はこちら。  
ユーザー名のみ  
「summit2019」

終了後、アンケート  
へのご協力をお願い  
します→



4.5, 6

# LOCAL VENTURE SUMMIT 2019

日時

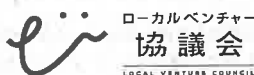
2019年11月8日(金) 13:30 ~ 19:30 (13:00 開場)

会場

ステーションコンファレンス万世橋 千代田区神田須田町1丁目25

主催

ローカルベンチャーサミット2019 実行委員会 /



共催

環境省 / チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト / 一般社団法人地域・人材共創機構 /  
一般財団法人地域活性化センター / 一般社団法人シェアリングエコノミー協会



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会



一般財団法人  
地域活性化センター  
Japan Center for Regional Development



運営事務局



# HELLO NEW PUBLIC

公民連携による新しい公園の使い方

2019  
12.12 (THU)

TALK EVENT  
OPEN 18:30 STARTS 19:00  
@M-WORK B1F

詳細は裏面をご覧ください。



# 風景を、変えよう。

公園、広場、公共施設——わたしたちの生活の中にある様々な公共空間を今よりもっと使って、わたしたちの生活をもっと豊かに。マルシェや音楽フェス、野外映画上映会。わたしたちが望むプレイヤーたちとともに、行政だけでも住民自治だけでもない、公民連携というあたらしいやりかたで。

そう、風景を変えよう。そこに集う人々を。そこにあるモノを。そこに生まれるコトを。あたらしいカタチに。



### 町田 誠 (偕楽園公園アクションプラン検討会座長)

千葉大学園芸学部・横浜市立大学国際教養学部非常勤講師 / SOWING WORKS代表  
元国土交通省都市局公園緑地・景観課長

1982年建設省入省。公園緑地関係を専門として、本省勤務の他、全国各地の国営公園などの整備管理を手がけたのち、国際園芸・造園博覧会ジャパンフローラ2000、愛知万博(2005)、全国都市緑化フェアTOKYO GREEN2012など、大型イベントのプロモート、会場デザイン等に携わる。さいたま市技監、東京都建設局公園緑地部長、国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長、公園緑地・景観課長などを歴任。



### 飯石 藍 (偕楽園公園アクションプラン検討会委員)

公共R不動産コーディネーター / 株式会社nest 取締役

遊休化した公共施設、空間の活用にて特化したマッチングメディア“公共R不動産”発足メンバー。現在は運営だけでなく、公共空間活用に関する企画・コーディネートを手がけ、全国各地のプロジェクト支援に携わる。2016年には地元豊島区、南池袋公園のリニューアルオープニングイベントの企画・運営に携わり、2017年からまちづくり会社“nest”の取締役として、“南池袋公園・グリーン大通り”の企画・エリアマネジメントなど、池袋駅東口エリアにおける公共空間活用プロジェクトに参画している。

## LECTURE & CROSSTALK

## あたらしい公園の使い方——南池袋公園で起きていること これからの茨城県の公園について ゲストを交えたクロストーク フリーQ&A など



### 宮本 恭嗣 (ファシリテーター)

株式会社ENDesign代表取締役 / さいたま市PPPコーディネーター

1973年東京都生まれ。東洋大学大学院公民連携専攻修了。再開発コンサルティング会社で、まちづくりに関する各種調査・研究、まちづくりコーディネート、再開発事業コンサルティングに従事するも、人口も経済も右肩上がりを前提とした開発手法に疑問を感じ、大学院修了を機に独立。各地で公民連携の仕組みづくりやリノベーションまちづくりに取り組む。

平成30年4月より、非常勤特別職として、さいたま市PPPコーディネーターに着任し、PPPの企画立案や庁内の啓発に取り組む。



### 川崎 篤之

いばらきスポーツタウン・マネジメント代表取締役

学校法人グロービス経営大学院 茨城水戸・特設キャンパス リーダー

1978年茨城県生まれ。2003年全国最年少議員として水戸市議に初当選(以来2期)。2012年から株式会社グロービスにて「G1サミット」事務局を担当。現在、学校法人グロービス経営大学院茨城水戸特設キャンパスの責任者としての取り組みを軸に、水戸からの地方創生モデル作りに挑んでいる。

2018年、Bリーグ茨城ロボッツ子会社「株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント」を設立、代表取締役社長に就任。



### 寺門 義典

310+1シネマプロジェクト

1973年生まれ。茨城県出身。茨城大学卒。大学時代は地元映画館スタッフ。

現在は小学校教諭を務めるかたわら、地元での映画制作に多数参加。映画団体のネットワークづくりを目的とした「310+1シネマプロジェクト」を設立。「水戸短編映像祭」「シネポートシアターMITO」等の非劇場での上映活動のスタッフをしながら水戸の映画文化の発信に尽力している。

茨城県水戸生涯学習センターにて社会教育主事としての勤務歴あり。FMばるるん(76.2MHz)「シネマ倶楽部」(第1・3月曜14:00)パーソナリティ。

## 2019年12月12日(木)

### 18:30open 19:00start

トークイベント(レクチャー&クロストーク)  
19:00~21:00

アフターパーティ  
21:00~22:30

ゲストを交えた懇親会です。会場・会費は別途お知らせします。

## チケットご購入

イベント参加には、PassMarketでのデジタルチケット購入が必要になります。携帯端末から、左のQRコードより購入ページにアクセスできます。

チケット購入ページ  
アクセス用QRコード



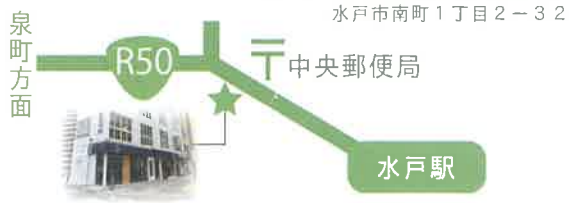
## トークイベント前売券

自由席	3,500円
自由席 公民連携ケーススタディブック <sup>①</sup> 付き	5,000円
学生自由席 (10名限定)	2,500円
動画視聴チケット	2,000円

購入された方には後日、YouTube 限定公開 URL をお送りします。

※公民連携事業研究センター発行「公民連携ケーススタディブック vol.2」全国の公共空間活用事例がまとめられています。

@ コワーキングスペース M-WORK B1F  
水戸市南町1丁目2-32



主催 公民連携事業研究センター (茨城支部)

問い合わせ

E-Mail : thelongandwindingroadchi@gmail.com

PHONE : 090-8347-9980 (担当: 森、篠原、萩谷)

Find us on



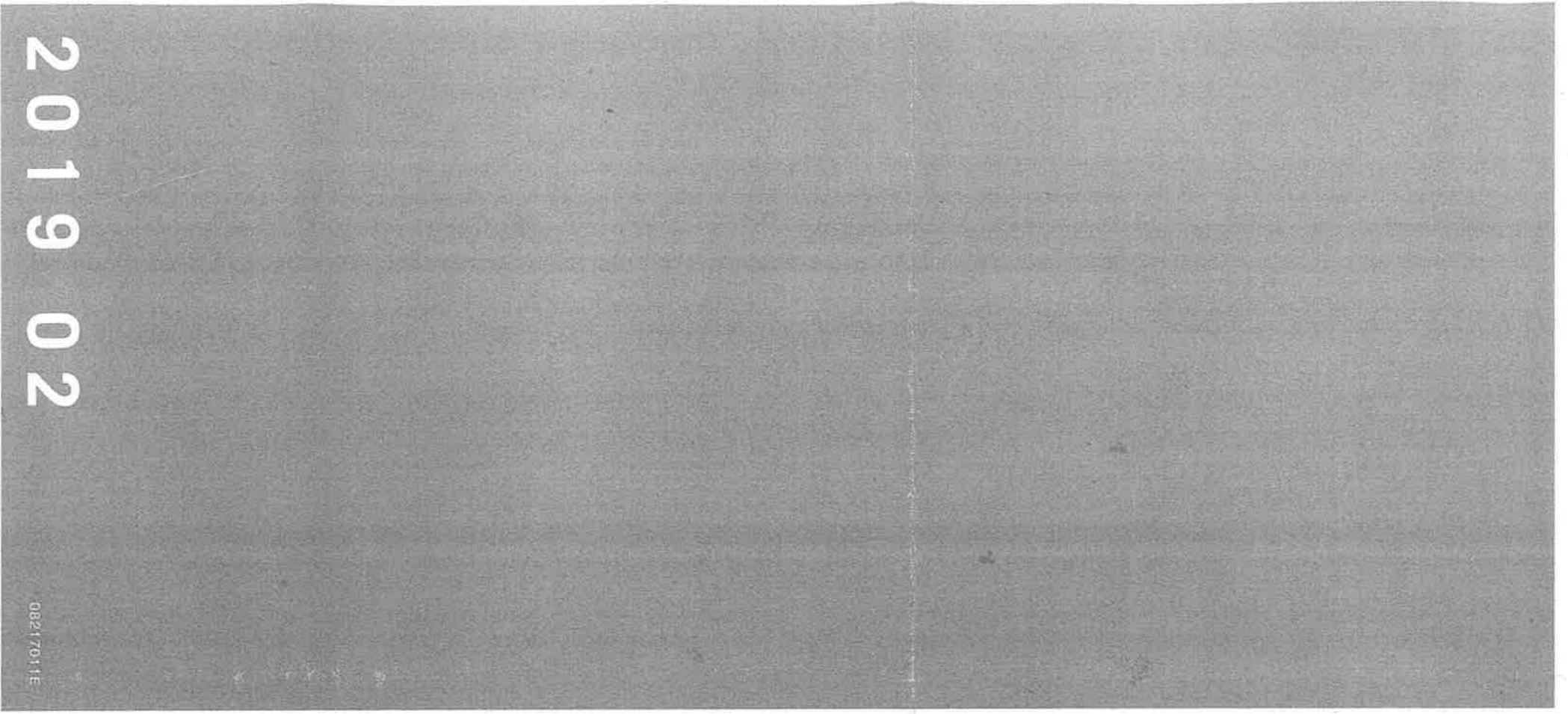
# ゼンリン

# 住宅地図

## 茨城県

---

## 取手市



2019 02

08217011E

ZENRIN



エコマーク認定番号  
第08120001号

この印刷物は、環境に配慮された原材料を使用し、リサイクルを考慮して製作されています。不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

ISBN 978-4-432-47065-5 C0326 ¥21000E

価格：21,000円 (本体価格)+税

バインダーは別売りとなります



9784432470655



1920326210008

<https://www.zenrin.co.jp/>

ゼンリン公式オンラインショップ

**ZENRIN Store**

<https://store.zenrin.co.jp/>

[ゼンリン住宅地図に関するお問い合わせ]

つくば営業所

〒305-0821 茨城県つくば市春日2-14-14

南栄光社

Tel 029-855-5717 Fax 029-855-5718

牛久販売代理店

〒300-1232 茨城県牛久市上柏田2-23-3

南栄光社

Tel 029-872-4690 Fax 029-874-3770

株式会社ゼンリン

週刊

# 福祉新聞

THE FUKUSHI SHIMBUN

- トピックス 介護自立支援へ「CHASE」収集項目固まる 2
- 【社会福祉法人風土記】浴風会Ⓞ 2
- 災害時の備蓄用「パンカン」製造（愛知） 3
- 「おおいた子ども食堂ネットワーク」が始動 4

## 障害者が活躍できる社会へ

### 厚労白書 雇用問題は「反省」

政府は9日、「平成30年版厚生労働白書」を閣議決定した。「障害や病気をなくし向き合い、すべての人が活躍できる社会に」がテーマで、就労や社会参加を通して自分らしく生きる社会へ向けた事例も紹介。また、国の行政機関で障害者の法定雇用率が未達成だった問題については、8割にわたって報告した上で、「反省」の姿勢を示している。

（鮫島隆紘）

た包括的支援——が必須としている。また白書は今回、障害者などを支える現場の取り組み事例として、「農福商工連携」による障害者就労支援をしている社会福祉法人進和学園（神奈川県平塚市）を取り上げた。同法人は本田技研と連携し、障害があっても特性に応じた工具を開発することで高い品質の部品を製造している。

また、重症心身障害者の地域生活を支える社会福祉法人訪問の家（横浜市）や、生産性を上げて高工資を実現した社会福祉法人武蔵野千川福祉会（東京都武蔵野市）、ICT（情報

### ベビーシッター研

厚労省 年1回以

白書は、誰でも職場や地域などあらゆる場で活躍できる「1億総活躍社会」に向け、障害者雇用の実態を整理。白書作成にあたって厚生労働省は2018年2月、地域での支え合いや就労に関するインターネット調査を実施した。

現在、国内の障害者数は推計で963万5000人と人口の7.6%に上る。内訳は身体障害者が436万人、知的障害者が108万2000人、精神障害者が419万3000人で、大半が在宅で生活しているという。

民間企業での障害者雇用は54万人。実雇用率は年々上昇傾向にあり、2.05%に上る。しかし、1年間の職場の定着率は、身体障害者が7割程度であるも

の、精神障害者は5割を切るなど「必ずしも順調ではない」（厚労省）。

ただ、就職後も就労移行支援事業所などの支えがある場合は、な

い場合より20ポイントほど定着率が高いこと

から、①積極的な対象者の把握②関係機関の連携による就労支援③治療と仕事の両立の推進④段階的自立に向け

る。厚生労働省の、社会福祉協議会児童部会や保育事業（ベビーシッター）について、資格研修受講の基準や利用者・保護者への周知方法などの議論で、保育士または看護師資格を有しないの研修受講の一定の認可の居宅訪問業で受講を1日以上の

## 「被災者に寄り添う」西日本豪雨災害から1年



### 岡山県総社市で追悼

2018年7月の西日本豪雨災害から1年となった6日、岡山県総社市は市役所の玄関前で追悼式を開いた。片岡聡一市長は「復興全体の51%は被災した人の心を癒やすことだ。総社市は人々の心にぴったり寄り添うこ

とに全力を傾ける」とあいさつした。被災状況を記した「記憶プレート」も約300人の参列者の前で除幕した。プレートには、市長がSNSで呼び掛け、約1000人の中高生がボランティアとして集まったこ

とを明記。市長は「災害で失ったものもあつたが、若し力を得ることができた」と胸を張る。河川が決壊・浸水した同市内で確認された死者は9人。ピーク時には市内41カ所の避難所に約8500人が

### 国の避難ガイドライン改訂 高齢者ら「レベル3」で

厚生労働省は3日、都道府県や関係団体に

対し、社会福祉施設の防災・避難対策の徹底

を求めた。

新しい避難ガイドラ

インは従来の「避難指

示」避難勧告「避難準備」といった防災情報

を5段階の警戒レベルに改め、レベル3を高齢者等避難「レベル4

を「全員避難」とする

など、避難のタイミングを明確化した。

また、気

戒レベル2

表された場

社施設の管

アルタイム

情報を把握

避難措置を

要請した。

要無形民俗定されてい

楽が披露

る大蛇退治

大きな拍手

同地区に

生委員児童

会長の安本

(74)は「

浸水し、中

した。犠牲

かった地区

り組みを学

話した。

岡山県は

いことから

89年から

の愛称を用

しかし、2

月5日から

梁川流域の

の月間平均

倍。中国地

7月以来の

# 福祉新聞

THE FUKUSHI SHIMBUN

週刊

トピックス  
里親委託率、国の目標を下回る  
【社会福祉法人 風土記】滝乃川学園 ⊕  
福祉との連携強化で再犯防止  
階段運搬ロボット実証実験成功

## 介護保険改正は小幅

### 社保審部会 意見書 40年も見据え五つの柱

厚生労働省の「社会保障審議会介護保険部会」（部会長 遠藤久夫・国立社会保障・人口問題研究所長）は12月27日、2021年度に向けた介護保険制度改正に関する意見書をまとめた。利用者負担の原則2割や、要介護1・2の訪問介護、通所介護の地域支援事業への移行などは見送られ、全体として小幅な見直しとなった。（榎戸新）

厚労省は意見書の内容を踏まえ、1月20日召集予定の通常国会に介護保険法などの改正法案を提出する。今春から本格化する21年度の介護報酬改定の議論にも反映させる。意見書は、団塊世代が75歳以上となる25年と、その先の現役世代の減少が顕著になってくる40年も見据え、必要な制度の整備や強化する取り組みをまとめた。

者が体操などを通して交流する「通いの場」

また、最

### 介護サービス 収支差率

介護事業	18年度	17年度	増減
特別養護老人ホーム	1.8%	1.7%	0.1%
老人保健施設	3.6%	3.9%	▲0.3%
介護療養型医療施設	4.0%	5.0%	▲1.0%
訪問介護	4.5%	6.0%	▲1.5%
訪問入浴介護	2.6%	3.5%	▲0.9%
訪問看護	4.2%	4.6%	▲0.4%
訪問リハビリテーション	3.2%	4.6%	▲1.4%
通所介護	3.3%	5.5%	▲2.2%

介護事業経営概況調査における収支差率

### 意見書の概要

- ① 介護予防・健康づくりの推進  
「通いの場」の類型化やポイント付与などによる参加促進  
総合事業の対象者の弾力化などによる効果的な推進  
質の高いケアマネジメントを実現する環境整備  
地域包括支援センターの機能・体制の強化
- ② 保険者機能の強化  
保険者機能強化推進交付金のメリハリ付けなどによる抜本的強化  
PDCA（計画→実行→評価→改善）サイクルに沿った取り組みの促進  
要介護認定情報など介護関連データの利活用
- ③ 地域包括ケアシステムの推進  
都市部、地方部など地域特性を踏まえた介護サービス基盤の整備  
有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅の行政による現状把握と関与強化  
在宅医療・介護連携推進事業の見直し  
介護医療院への移行の促進
- ④ 認知症施策の総合的な推進  
「共生」と「予防」、認知症サポーターが活躍できる仕組みづくりなど、認知症施策推進大綱に沿った取り組みの推進
- ⑤ 持続可能な制度の構築・介護現場の革新  
低所得入所者の補給給付の支給要件の引き上げ  
高額介護サービス費の上限額の引き上げ  
介護業務の仕分け、ICT活用などによる改善  
指定申請、報酬請求、指導監査に関する文書の削減
- ⑥ その他  
要介護認定における更新認定2次判定の一部で有効期間を3年から4年に延長  
認定調査員について一部でケアマネジャー以外の実施容認

柱は▽介護予防・健康づくりの推進▽保険者機能の強化▽地域包括ケアシステムの推進▽認知症施策の総合的な推進▽持続可能な制度の構築・介護現場の革新の五つ。介護予防・健康づくりでは、高齢者が社会で役割をもって活躍できるように、健康寿命の延伸につなげる。高齢

### 津久井やまゆり園事件

## 異例の匿名裁判始まる

### 検察「施設勤務が思想形成」

神奈川県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」（入倉かおる園長・相模原市）で発生した殺傷事件の裁判員裁判が8日、横浜地方裁判所（青沼潔裁判長）で始まった。被告者は一部を除き匿名で審理され、被害者参加制度により傍聴席に座る被害者家族は遮断板で囲われ、周囲から見えないようにされた。異例すくめの裁判の判決は3月16日に言い渡される予定。

匿名での審理をめぐっては「被害者の障害者を理由に差別するもの」との批判があるが、裁判所は被害者家族のプライバシー保護に配慮した。殺人などの罪に問われた、同園元職員の間松聖一（29）は起訴事実について「間違いない」と述べた。検察側は被告が常習した大麻の影響は限定的で、被告に責任能力はあると主張。同園での勤務経験や社会情勢の見聞を経て「障害者にかけるお金を他に回すべき」とする「特異な考え」が形成され

たと思われた。「施設での勤務経験」が、職員による手厚いケアを指すのか、その逆のことを指すのかは不明。今後の審理で検察が示す見込みだが、同園はもとより、福祉施設を運営する側には気になるところだ。

一方の弁護側は犯行時、被告は大麻の影響で別人格だったとして責任能力はないとした。被告の成育歴をたどりながら、明るくて優しい、目立ちたがり屋だった被告が大麻で変容した経過を今後の

審理で示す構えだ。事件は2016年7月26日未明に発生。植松被告が知的障害のある入所者19人を刺して殺害し、26人に重軽傷を負わせた。初公判で植松被告は「皆さんに深くおわびします」と言った直後、自分の手をかむような仕草を見せた。止めに入った係官ともみ合って転倒し、裁判長は休廷を宣告。被告人不在のまま再開したが、予備日を含め全26回の公判は波乱の幕開けとなった。（福田敏充）

### 雪と遊ぼう



抱っこされて滑走し、雪山を満喫した河本君